

『羽村市史 資料編』の刊行について

資料 7

担当 市史編さん室

■ 概 要

市では、郷土羽村に対する市民の理解と愛着を深め、さらに先人が築き発展させてきた思いと歴史を次世代に継承するとともに、それらの貴重な遺産を新たな「はむら」の創造に繋げていくため、『羽村市史』の編さんに取り組んでいます。

平成 29 年度刊行の資料編「近現代図録」及び「中世」、平成 30 年度刊行の資料編「近世」及び「自然」に続いて、この度、資料編「考古・中世補遺」及び「民俗」の 2 冊を刊行しましたのでお知らせします。

● 羽村市史 資料編 「考古・中世補遺」の概要

「資料編 考古・中世補遺」は、主に市内の遺跡や遺物に関する資料を収録しました。

本書には、遺跡・遺物の紹介のほか、発掘された土器を時代順に並べた土器の編年をもとに当時の集落像を掲載しています。また、古墳時代の遺跡や阿蘇神社の瓦、鍛冶遺跡等の遺物についても、新たに調査・実測を行い、資料化を図り掲載しました。

また、中世補遺では、羽村市域に残る棟札類としては唯一の中世資料である阿蘇神社の棟札に赤外線をあてて銘文を補訂し、初出の板碑等も掲載しています。

表紙



裏表紙



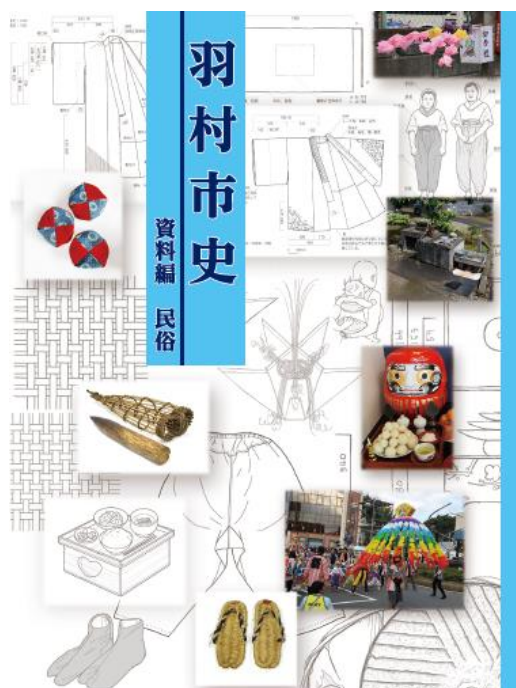
● 羽村市史 資料編 「民俗」の概要

「資料編 民俗」は、主に羽村の人びとのくらしに関する資料を収録しました。

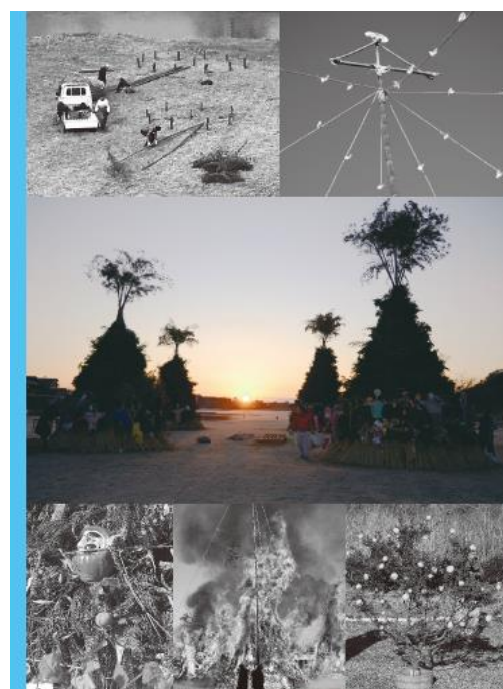
本書には、集落の成立と地域社会のしくみ、生業の変遷、衣食住の様子と習慣、一年を通した年中行事、一生のうちに経験する儀礼、家や地域に残る信仰、昔話や伝説など、羽村市域の人びとがくらしの中でどのように関わってきたのかを記録しています。

また、多摩川とのかかわりや羽村の春祭りについても、羽村市域の特徴として、項目を立ててまとめています。

表紙



裏表紙



※販売場所・価格

- ・羽村市役所 1 階受付（午前 8 時 30 分～午後 5 時）
- ・郷土博物館（午前 9 時～午後 5 時／祝日を除く月曜日休館）
- ・郵送での購入をご希望の方は、電話またはメールにて問い合わせてください。

羽村市企画総務部市史編さん室 電話 042-555-1111 (内線 365)

電子メール s108000@city.hamura.tokyo.jp

- ・販売価格は「考古・中世補遺」「民俗」とも各 2,000 円です。また、既刊の資料編「近現代図録」「中世」「近世」「自然」も引き続き販売しています。